



## 今月の話題

- 通年研修の集団研修完了と個人研修開始について
- 福山博士による IISEE オンラインセミナーの実施について
- 国際地震工学研修事業60周年に寄せられた祝辞の IISEE HP での公開
- 福島訪問研修
- 微動アレイ探査用フリーソフトウェアの改訂

## 研修データベース

IISEENET(地震防災技術情報ネット)

IISEE-UNESCO レクチャーノート  
Eラーニング

シノプシス・データベース(修士論文概要)

Bulletin データベース

## 地震データベース

2011年3月11日東北地方太平洋沖地震

地震情報

宇津カタログ(世界の地震被害)

地震カタログ(世界の大地震の震源メカニズム、余震分布等)

## 通年研修の集団研修完了と個人研修開始について

国際地震工学センター長 小豆畑 達哉

2020-2021年度の国際地震工学通年研修における集団研修を、5月14日をもって完了いたしました。集団研修では、研修生は、地震学、地震工学、津波防災の3コースに分かれ、約8カ月をかけて、各分野に係る講義を受講し基礎的及び応用的知識を習得します。

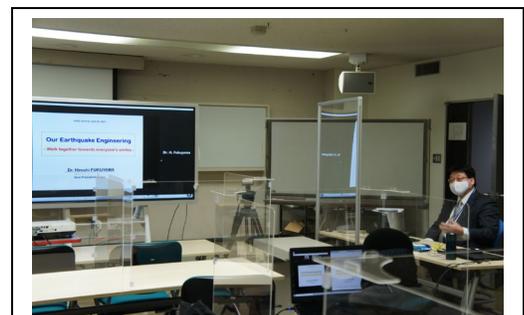
2020-2021年コースは、コロナウィルスの世界的流行による入国規制の中、研修生15名全員が母国に留まった状態で開始しました。2021年5月現在においても、まだ4名の研修生が母国に留まったままです。感染症対策を取る必要性から、大半の講義をオンラインで行わざるをえませんでした。このように大変、厳しい条件下においても研修生全員が集団研修を完了できたことを大変嬉しく思います。研修生全員の努力に敬意を表するとともに、講師の皆さま方に厚く御礼申し上げます。

さて、個人研修が5月17日から始まりました。研修生が母国の地震防災に貢献できる研究成果が得られるよう、引き続き、国際地震工学研修の活動に取り組んで参りたいと思います。

## 福山博士による IISEE オンラインセミナーの実施について

国際地震工学センター長 小豆畑 達哉

4月26日に、建築研究所理事の福山博士を招き、IISEE オンラインセミナーを実施しました。まず、福山博士に講演をお願いしました。講演タイトルは、”Our Earthquake Engineering – Walk together towards everyone’s smiles –”でした。1995年兵庫県南部地震、2011年太平洋東北沖地震等、過去の自然災害を通して得た教訓や知見が紹介され、また、今後の地震防災対



建築研究所理事  
福山博士



策の方向性に関する考えが示されました。この講演の後、参加者は、Spatial Chat を使った自由討論を行いました。

本セミナーには、元研修生も参加しました。参加者の内訳は下記の通りです。

研修生及び IISEE スタッフ: 18人  
元研修生: 20人(14カ国)

その他、オンデマンドでのビデオ視聴者は、約 20 名でした。また、セミナー終了後には、当日セミナーに参加できなかった人も含めて 40 名以上の元研修生からコメントを頂きました。



楽しむのは今です

## 国際地震工学研修事業 60 周年に寄せられた祝辞の IISEE HP での公開

国際地震工学センター シニアフェロー 横井 俊明

国際地震工学研修事業 60 周年に多様な関係者の皆様から寄せられた祝辞を IISEE ホームページに公開しました( <http://iisee.kenken.go.jp/japanese/>、「国際地震工学研修 60 周年記念誌」と書かれた黄色のバナーをクリックしてください)。これらの方々は、長年に渉って IISEE を支えて頂いた関係者の皆様と元研修生の皆様の代表です。心より感謝致します。

大変申し訳ないことですが、コロナ禍の影響で、記念誌の出版が大幅に遅れています。今後、「IISEE の活動」、「資料編」を IISEE HP 上で順次公開していく予定です。

## 論文募集

IISEE Bulletin は、現地震学、地震工学、津波に関する論文を募集しております。開発途上国に関するものを対象としていますが、それに限らず募集しています。

送って頂いた未発表の論文は、編集委員会と専門家による査読を行います。投稿料は無料です。

是非チャレンジして下さい。

国立研究開発法人 建築研究所 B R I

**IISEE 国際地震工学センター**

English

ホーム  
ウェブサイトのご案内  
IISEEについて  
ニュースレター  
研修  
出版物  
研究成果  
スタッフ  
国際会議情報  
よくあるご質問  
関連リンク  
交通案内  
ご意見、お問い合わせ  
ダウンロード

68438 visitors since June 17, 2002

その他のお知らせ

研修修了生  
IISEEセミナー  
IIPRED  
国際シンポジウム

United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization  
New guidelines to improve the safety of informal buildings

English

IISEE-Net / 研修  
IISEE-Net 地震防災技術情報ネット  
IISEE-UNESCO レクチャーノート  
Eラーニング  
アブストラクト・データベース  
修士論文データベース  
Bulletin データベース  
国地年報データベース

2011年3月11日  
東北地方太平洋沖地震

建築研究所 発表戦線

地震情報  
宇津力タロウ  
世界の地震被害  
地震カタログ  
世界の大地震の震源メカニズム・余震分布、震害被害及び応急復旧

国際地震工学研修 60周年記念誌

IISEE Facebook

## 連絡先

IISEE ニュースレターは、IISEE と卒業生の架け橋を目指しています。

ニュースレターへの報告や記事をお待ちしております。皆様の自国でのご活躍をお知らせ下さい。

また、皆様の同僚やお友達もこのメーリングリストに登録するようにお誘い下さい。

iiseenews@kenken.go.jp  
<http://iisee.kenken.go.jp>

## ニュースレターの 配信先変更

IISEE ニュースレターの配信先の変更は、iiseenews@kenken.go.jp へご連絡ください。

## バックナンバーは下 記をご覧ください。

<http://iisee.kenken.go.jp/nldb/>

## 福島訪問研修

国際地震工学センター 上席研究員 原 辰彦



いわき震源伝承未来館



東日本大震災・原子力災害伝承館

4月22日に福島訪問研修を行いました。地震学・地震工学、津波防災コースの研修生は最初にいわき震災伝承みらい館を訪問しました。いわき市は東日本大震災で地震・津波により大きな被害を受けました。震災語り部による講話を聴講した後で、当時の被災状況、福島第一原子力発電所の事故による避難、震災後の復旧、復興等に関するパネル展示を見学しました。次に、東日本大震災・原子力災害伝承館を訪問し、福島第一原子力発電所の事故とその後の対応・影響、福島における復興への取組等に関して説明を受けつつ、展示を見学しました。両施設の了承を得て、自国で研修を受講している研修生もこの訪問研修の一部を閲覧することができました。

## 微動アレイ探査用フリーソフトウェアの改訂

国際地震工学センター シニアフェロー 横井 俊明

微動アレイ探査用フリーソフトウェアの改訂版を IISEE-NET HP 上でリリースしました。

SPAC2021:

<http://iisee.kenken.go.jp/net/?mod=spac>

CCA2021:

<http://iisee.kenken.go.jp/net/?mod=cca>

興味があれば、これらの URL に立ち寄って見てください。

2020 年版からの改訂はマイナーですが、少し便利になっています。